

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 チョウタリイの会

1 事業の成果

当期においても前期に引き続き、国内及び海外の活動において新型コロナウイルスの影響を受けました。海外においては、E-ライブラリ開設支援活動など順調に行なうことができましたが、コロナ禍のため開館式などの交流活動は現地との間で、リモートで行ないました。また、ネパールのパンチカール市長が当法人をご来訪されました。日本とネパールの交流を深めることができましたものと思います。国内の活動では、コロナ禍の折り、地域での子ども等への支援活動の強化を図ってまいりました。その活動を通して地域の人々とのつながりをより深めることができたのではないかと思います。

また、当法人の活動がNHKの番組「おはよう関西」で紹介され、多くの方から問い合わせを頂きました。

● 「途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業」



完成したE-ライブラリ
ゴルマ・デビ・ベーシック学校



完成したE-ライブラリ
バル・プラティバ・ベーシック学校



完成したE-ライブラリ
ジョアパティ・セカンダリー学校



ゴルマ・デビ・ベーシック学校
E-ライブラリの室内



バル・プラティバ・ベーシック学校
E-ライブラリの室内



ジョアパティ・セカンダリー学校
E-ライブラリの室内

当法人では、2010年より「ネパールにおける公立学校新校舎等建設支援プロジェクト」を行なっています。当期では、当プロジェクトの25校、26校、27校目としてカブレパランチョーク郡パンチカール市4区のゴルマ・デビ・ベーシック学校（幼稚園、小学校）、同市2区のバル・プラティバ・ベーシック学校（幼稚園、小学校、中学校）、同市6区のジョアパティ・セカンダリー学校（保育園、小学校、中学校、高校（1年））の3校のE-ライブラリが完成しました。

また、新たにラダ・クリシュナ・ベーシック学校（同市10区）、バクラム・デビ・セカンダリ学校（同市2区）の2校でE-ライブラリ開設支援を開始し、ガーネシャ・セカンダリ学校（同市5区）の新校舎建設支援プロジェクトを開始しました。

E-ライブラリ開設支援プロジェクトでは、以下の支援を行ないました。

- ① E-ライブラリの建設
- ② 本棚、テーブル、椅子などの家具の提供
- ③ 図書の提供

④ デSKTOPコンピュータと関連機器の提供

⑤ ネット回線などの環境整備

「E-ライブラリ」とは、デジタルツールを整備したコミュニティ図書館のことです。生徒、教師の他に地域の大人も子どもも利用でき、読書はもちろん6台のデスクトップコンピュータによりインターネットを通じて多くの知識を得ることができます。

ネパールの山間地域のほとんどの公立学校では、1台のコンピュータも所有していない状況となっています。また、図書室もなく、子どもたちは、満足に読書をすることもできない環境におかれています。

他国の学校では、1人に1台のタブレット端末を使用した教育が行なわれ始めている中で、ネパールの山間地域の公立学校では、情報通信における教育環境が他国と比べてとても遅れています。この状況のままでは、デジタルネイティブ世代であるはずの子どもたちが、デジタル格差となって取り残され、未来の可能性が小さなものになってしまいます。

当法人では、子どもたちに読書ができる環境とコンピュータで多様な知識を得ることができる環境を作ることによって、子どもたちに心が豊かで平和な社会を築いてもらいたいと思います。

● 「国際交流に関する事業」

1. E-ライブラリ開設支援にともなって、支援先のゴルマ・デビ・ベーシック学校、バル・プラティバ・ベーシック学校、ジョアパティ・セカンダリー学校の3校よりビデオレターを頂き、また開館式をリモートで行い日本とネパールとの交流を図りました。



ゴルマ・デビ・ベーシック学校
教師と生徒

バル・プラティバ・ベーシック学校
教師と生徒

ジョアパティ・セカンダリー学校
教師と生徒

E-ライブラリ開設において、子どもたちや教師たちから多くの感謝の言葉を頂きました。その一部を記載します。

○ゴルマ・デビ・ベーシック学校 教師

「これまで私たちの生徒は教科書だけで勉強していました。今、彼らは、コンピュータをクリックすることによって多くのことを学ぶことができます。E-ライブラリは、学生に質の高い教育を提供するために必要不可欠です。私たちは、E-ライブラリがこの学校の生徒たち、そしてこの地域の子どもたちに学習の機会を提供することを願っています。同様に、教師にとっても、新しい教育技術やアイデアを学ぶのに役立つでしょう。だから、このようなE-ライブラリが学校にあることは、教師にとっても、生徒たちにとっても、とても嬉しいことなのです。生徒たちは熱心にコンピュータに触れています。コンピュータで勉強することにとっても興味を持っているのです。最後に、本校のE-ライブラリの設立に支援してくださった皆様に心から感謝申し上げます。」

○バル・プラティバ・ベーシック学校 生徒

「私たちは、E-ライブラリから多くの知識を学ぶチャンスを得ました。E-ライブラリでの読書は、とても快適です。素晴らしいE-ライブラリを作って下さってありがとうございます。私たちの学校に来

て下さい。とてもお会いしたいです。」

2. 10月において、ネパールのパンチカール市長ご夫妻が当法人を来訪されました。

当法人では、ネパールのカブレパランチョーク郡を中心に公立学校の新校舎建設支援を行っております。パンチカール市は、そのカブレパランチョーク郡にあり、当法人の支援活動を最も多く行なっている自治体です。

ご来日時は、市長ご夫妻と共に奈良市長を表敬訪問し、その後、当法人のエデュケーションセンターにお越しいただき、

ネパールと日本の文化のこと、また将来に向けてのパンチカール市長ご夫妻と共に奈良市長を表敬訪問
展望などを話し合い、両国の友好をより深めることができました。



● 「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」

1. 当法人では、タイにおいて、HIV感染者を家族に持つ子どもたちを里子として、1996年より就学のための支援を継続的に行なっています。

また、子どもたちとの手紙やプレゼントをなどによる交流を通して友好を深めています。当期においても、文具等の提供などの支援活動を行いました。

タイでは、2020年に入って新型コロナの影響で、日雇いで働いている人々の仕事が減少し、それらの人々の生活はとても苦しい状況となっています。里子たちの家庭においても日雇い労働で生計を立てている家族が多く、生活が苦しい状況となっています。



HIV感染者を持つ家庭は、概して貧しく、精神的にも疲れており、経済的に子どもを学校に通わせることが困難な状況である場合が多く、そのためそれらの子どもたちは、未来に希望を持つことができない状況となっています。また、その状況は貧困層の固定化につながり次世代においても貧困の連鎖が続く原因となってしまいます。

当法人では、困難な状況にある子どもたちの未来を開くため、当プロジェクトを継続して行なっていきたいと思っております。

2. 当法人では、2021年11月より「元気ごはん宅食プロジェクト」（子どもや妊婦への宅食事業）を始めました。当期においても引き続き当プロジェクトを奈良市西部地域において行ないました。

当プロジェクトは、主に一人親家庭にお弁当を中心にお菓子、果物などを定期的にお届けしています。ご利用家庭の生活状況や体調を見守ることによって状況の悪化の予兆を見つけることを目的としています。

統計によると日本国内の一人親家庭の約半数が相対的貧困の状態となっています。また、経済的な問題だけではなく一人で子育て等の悩みを抱えてしまい、精神的にも大きな負担を感じてしまうこともあります。

一人親家庭においては、親本人が病気になったり、育児不安になったりした場合、自分から役所に相



元気ごはん宅食の準備の様子

談に行くことが難しくなり、そのため育児を行う事ができず子どもの生命にも関わる問題となってしまう。そのため、宅食を通しての見守りはとても重要で問題解決の役割を果たすものと思います。

「元気ごはん宅食プロジェクト」は、援助を必要とする人に相談窓口などを作って待つ支援ではなく、支援する側から手を差し伸べて行動するアウトリーチによる支援です。

当法人では、困難を抱えている人々が、誰にも相談することなく、一人で悩み苦しんでいる状況を解消して、必要であれば更なる支援につなげて誰一人として決して孤立孤独にさせない社会の構築を、活動を通して目指していきたいと考えています。

3. 当期においては、子どもたちの居場所支援として塾などに通うことが難しい子どもを対象とした「学習支援教室」を6月より開催しました。授業内容は、主に数学と英語を教え、子どもたちの基礎学力の向上を図りました。

出席している子どもたちの学力は向上していきましたが、全国的にコロナの感染が拡大し、講師においても感染してしまう状況となりました。そのため、安全を最優先し休講せざるを得ない状況となりました。

次期においては、子どもたちの居場所支援の充実を図り、子どもの安全を見守りたいと思います。

4. 当法人では、地域の子育て支援として文具バンク・プロジェクトを2011年8月より開始しました。当プロジェクトは、毎月1回文具を必要としている子どもや団体等にノート、鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなどをセットにして、また必要に応じてコンパス、色鉛筆、クレヨン、定規などを手渡しで配りました。コロナ禍もあり、一人親家庭など多くの人々の収入が減少し経済的に苦しい状況となっています。この活動を通して困難な状況にある子育て家庭の一助になれば幸いです。



文具バンク・プロジェクト

● 「機関紙、刊行物、講演、展示会、映像上映等による広報及び啓発事業」

1. 講演活動

大阪市内で講演を行ないました。人々に当法人の活動を知って頂くことができました。

2. 機関誌等の発行

当期においても、「チョウタリイ通信」及び、機関誌「チョウタリイ」を発行し、支援者や一般の人々に配布しました。「チョウタリイ通信」は主に活動報告を掲載し、機関誌「チョウタリイ」では、活動の報告と共に NGO 豆知識として「SDGsにおけるチョウタリイの活動」と題した記事などを掲載しました。機関誌等を通して読者にさまざまな問題について考えて頂く機会が作れたものと思います。



機関誌「チョウタリイ」

● 「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」

奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の「Hug²祭り2022」に出展しました。

また、前期に引き続き、あやめ池地区民生委員・児童委員協議会主催の「お餅つき大会」にチラシの作成、場所の提供、開催準備のお手伝いなどの協力を行ないました。

さらに、当期においては奈良市伏見地域包括支援センター主催で10月より毎月1回開催される「オレンジカフェ」において、チラシの作成、場所の提供、開催準備のお手伝いなどの協力を行ないました。



HUG²祭り2022 出展

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業	タイにおいてHIVに感染している家族を持つ子どもたちへの文具等の支援を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン 県、 バンガー県	2名	HIV感染者を家族に持つ子どもたち10人	327
	ネパールにおいてのCOVID-19対策等、現地のカウンターパートとリモートで協議した。	通年	奈良市	3名	当該地域の医療従事者等 多数	203
	地域の子どもの育成支援として一人親家庭等にお弁当やお菓子、果物、お米などの配付、学習支援、また、文具の配付を行なった。	通年	奈良市	5名	奈良市が支援を必要とした家庭49名及び文具を必要とする子ども、団体等 多数	1,655
途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業	ネパールにおいて、山間部の公立学校5校にE-ライブラリ（デジタルツールを備えた図書館）の建設支援及び公立学校1校の新校舎建設支援を行なった。	通年	ネパール カブレパラ ンチョーク 郡	3名	図書館及び校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等	7,296
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業	インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料で助産行為を行っている助産院への支援	今年度は実施せず				
地球環境問題解決のための緑化推進活動等による環境保全事業	地域における緑化運動推進のためのローズマリー等の苗木作り及び植樹活動	今年度は実施せず				
HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業	タイのムクダハン県等におけるエイズ予防セミナーの実施	今年度は実施せず				

HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業	タイのバンコク等におけるエイズ患者の家族に心穏やかに安心して暮らせる住居の提供及びエイズ患者家族に対する生活支援	今年度は実施せず				
途上国等における自立を目指す人々への協力事業	自立を目指す人々の製品の技術等の支援及び日本国内での製品の紹介等	今年度は実施せず				
国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業	国際社会における貧困、格差、紛争、地球環境等の諸問題における調査及び研究活動	今年度は実施せず				
機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業	支援団体において事業活動等についての講演を行った。	8月 1月	大阪市	3名	支援者 約500人	56
	機関紙「チョウタリ通信」「チョウタリ」を作成した。	6月 3月	奈良市	2名	不特定多数	383
社会教育及び政策提言事業	ボランティア講座の開催	今年度は実施せず				
関連団体及び関係する国際機関との相互協力	奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の「Hug ² 祭り」に出展した。	12月	奈良市	3名	来場者等 多数	35
	奈良市伏見地域包括支援センター主催の「オレンジカフェ」の開催にチラシの作成、開催準備、場所の提供等の協力をした。	1月	奈良市	1名	伏見地域の 高齢者 約80名	39
	あやめ池地区民生委員・児童委員協議会主催のお餅つき大会の開催にチラシの作成、開催準備、場所の提供等の協力をした。	12月	奈良市	2名	あやめ池地区住民 約150名	7
災害復興協力事業	サラスワティ・ベシツク学校（ネパール）の復旧のための協議を現地カウンターパートとリモート等で行なった。	通年	奈良市	3名	当該被災学校の生徒、 教師、周辺住民 多数	97

国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業	ネパールにおいて E-ライブラリ開設支援を行った学校3校とのリモート等による開館式及びパンチカール市長夫妻との国際交流を行った。	8月 10月 1月	大阪市 奈良市	5名	当該 E-ライブラリ開設学校3校の生徒、教師、周辺住民等 多数	432
--------------------------	--	-----------------	------------	----	---------------------------------	-----

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)
イベント開催事業	手工芸作家等による作品展の開催	今年度は実施せず			
文化教育事業	手芸、音楽等の文化教室事業	今年度は実施せず			

* 報告書の金額表示は、原則として単位未満の端数処理を四捨五入で表示しているため、表中の金額と内訳の合計が一致しない場合があります。